

実施日：平成 26 年 8 月 8 日（金）

時間：13:00～15:00

場所：動物園，元白川小学校

対象：京都府立西舞鶴高等学校 理数探究科 1 年生 41 名，引率教員 5 名

内容：サル舎でのお勉強見学，骨格の組立実習

・サル舎で勉強しているのはシロテテナガザルとマンドリル。生憎この日は暑さの為かまったくやる気を見せないため，お勉強の見学ではなく，田中センター長によるシロテテナガザル及びマンドリルの解説を行った。



類人猿であるテナガザルの特徴やマンドリルの雌雄差など，問いかけをしながら進めていった。

その後，場所を移動（元白川小学校）し，全身骨格を活用した組立実習を行った。

まずは，ブラジルバクの全身骨格を組立ながら，体のつくりを説明した。なお，組立時には種名は紹介せず，骨格をヒントに種名を導き出してもらうこととした。



もっとも，苦勞していたのは手根部・足根部の関節で，前日に組立の予習をした博物館実習生が補助しながら組立に取り組んでいました。そして，うまく組み合わさった時，とてもうれしそうな表情だったのが印象的でした。

次いで、キリンの全身骨格の組立に取り組んだ。

頸・肋骨・前肢・後肢など各パーツに分かれて、それぞれの骨の形の特徴などを確認しながら進めた。



実際に触れて学ぶことで、動物たちの体のつくりや特徴をより理解できたのではないかと思います。  
なお、骨格の組立実習に際しては、生きている動物観察や園で所蔵している生態などを記録した映像資料と組み合わせて実施することも可能ですので、興味ございましたらお問い合わせください。

※全身骨格の組立プログラムは、公益財団法人 日本科学協会 笹川科学研究助成を受けて実践しました。

京都市動物園 生き物・学び・研究センター 和田 [ikimonomanabi@city.kyoto.jp](mailto:ikimonomanabi@city.kyoto.jp)